

2014 年度事業報告書

I 事業の実施状況

大学生スタッフを中心として実際に活動していく中で、放課後学習支援教室アシスト、日本語だんらんプロジェクト、こころざし支縁プロジェクト、学際 IROHA プロジェクト、国際 ALICIA&OLIVIA それぞれのプロジェクトの根幹となる理念を形成することができた。

また、それぞれの活動においてプロジェクト実施のための地域との有機的つながりのきっかけを得ることができ、次年度の活動の足掛かりをえた。

一方で、アシスト・だんらんなどでは顧客獲得に未だ課題を抱えている。今後活動の受益者を増やすことで活動をより充実・発展させていくことが望まれる。

以下報告では、任意団体として活動していた時期からの 2014 年度全体の報告を行う。



II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に関わる事業

(1) 放課後学習支援教室アシスト

【内容】

放課後の学習環境格差の是正と、子どもたちの居場所づくりや地域コミュニティ形成をテーマにした小・中・高校生向けの放課学習支援教室。

【事業の対象者】 小・中・高校生

【実施場所】 妙法寺・甲子園・苦楽園・摩耶

【実施日時】 平日の放課後 週 1～2 回

【報告】

妙法寺を起点に、甲子園、苦楽園、摩耶と事業を展開することができた。

それぞれの地域で子どもたちとスタッフとの学び合いの機会を作れたことで、子どもたち、またその保護者、スタッフに今まで地域に無かった機会の提供をすることができた。

一方で、教室理念の共有が進まず、子どもたちとの接し方にもスタッフ間で戸惑いが生じたこと、保護者のニーズの多様性に対応しきれず、また教室展開の点でも教室を運営している別運営母体の影響を受け、安定した教室開催ができなかったこと

が反省点としてあげられる。

次年度においては、スタッフ間だけでなく子どもたちや保護者、地域の方々との教室理念の共有を強化し、より地域に根差した教室活動にしていくことが望まれる。



(2) 日本語教室だんらん

【内容】

日本語非母語話者が日本語の勉強を楽しみながら地域とのつながりを作ることを目的とした日本語学習支援。会話中心で実際に日本語を使ってコミュニケーションを図りながら学べる場を提供する。

【事業の対象者】 日本語非母語話者と日本語教育に興味のある日本人

【実施場所】 元町

【実施日時】 日曜日・不定期

【報告】

兵庫にある日本語学校との連携が生まれ、日本語学習だけでなく日本語によるコミュニケーションを必要としている学生とのパイプができたことが大きな収穫だった。スタッフの不足や生徒の都合によって日曜日での定期開催が難しかったため、次年度以降は平日夜間の時間での開催を考える必要がある。



(3) 国際 ALICIA&OLIVIA

【内容】

国際的視野を持ち、国際問題に関心を持つ人を地域の中でつなげ、増やしていくために国際をテーマとしたイベントを不定期で開催。

【報告】

国際をテーマとして勉強会や、フェアトレード推進のためのフリーマーケットを実施。他団体と連携したイベントを開催できたことは、活動の大きな成果である。

一方で定期的な活動の基盤を築けなかったのは、活動場所の固定と時間の確保ができなかったことが大きい。今後はプロジェクトチームの再編と活動の方向性の統一を図ることが必要とされる。



(4) 学際 IROHA プロジェクト

【内容】

地域における学びの場づくりを進めるプロジェクト。様々な分野で活動する人々が同じ場で学び合い、理念を共にする共同体の形成を目指す。

【報告】

理念に基づく学習会や学びの場の開催を月1回程度開催。

定期開催のためのノウハウを蓄積できた。今後、定期開催のための更なる人的ネットワーク形成が望まれる。また、学習会から発展しプロジェクトとして学んだことを体現できるプログラムの確立を目指す必要がある。



(5) こころざし支縁プロジェクト

【内容】

ビッグイシュー同好会をはじめとした社会的包摂をテーマに、地域における社会的課題、あるいは活動における人的プラットフォームの形成と活用を目指す。

【報告】

国内における貧困問題をテーマに釜ヶ崎を視察。貧困に限らず、平和、社会的包摂などのテーマに沿って他団体、あるいは個人と連携して地域の人的ネットワークを活用するプロジェクトを展開する方向性を確立した。

